

2014年2月5日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

中小企業景況調査(2014年1月) 要約版

[概況] 中小企業の売上げDI、売上げ見通しDIは、ともに低下
～売上げ見通しDIは、高い水準が続く～

1 売上げ

2014年1月の売上げDIは、前月(11.2)から低下し、▲2.7となった。

今後3カ月の売上げ見通しDIは、21.6と、前月(22.6)から低下したものの、高い水準が続いている。プラス水準となるのは12カ月連続である。

2 利益

利益額DIは、7.0と、前月(10.8)から低下したものの、6カ月連続でプラス水準となっている。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、5.2と、前月(2.9)から上昇し、3カ月連続でプラスとなった。仕入価格DIは、26.2(前月:25.0)と上昇し、販売価格DIとの差は開いている。

従業員判断DIは、0.6と、前月(0.9)から低下したものの、2カ月連続でプラス水準となっている。生産設備判断DIは、▲11.1(前月:▲11.7)と、4カ月連続で上昇しているものの、依然、低い水準が続いている。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

<調査の要領>

調査時点	2014年1月中旬
調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏455社、中京圏141社、近畿圏304社)
有効回答企業数	584社
回答率	64.9%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704(担当:桑本、神谷)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

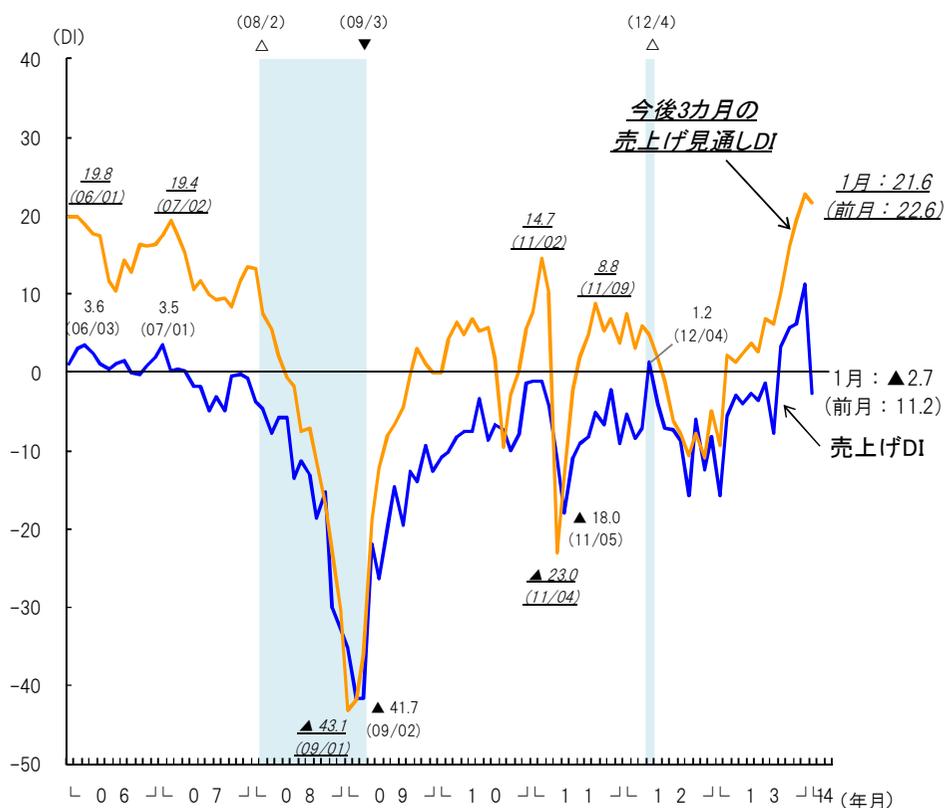
○売上げDI(「増加」-「減少」)は、▲2.7と、前月から13.9ポイント低下した。

○売上げ見通しDI(「増加」-「減少」)は、21.6と、前月から1.0ポイント低下した。プラスとなるのは12カ月連続であり、最近5カ月は二桁のプラスとなっている。

○利益額DI(「増加」-「減少」)は、7.0と、前月から3.8ポイント低下した。プラスとなるのは6カ月連続である。

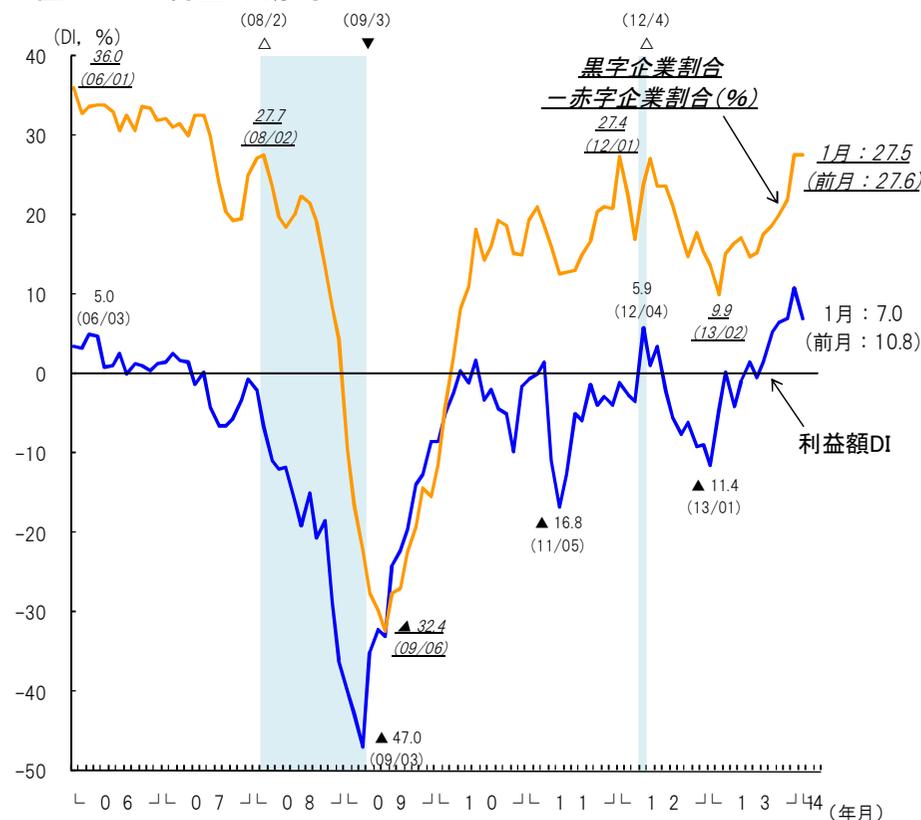
○黒字-赤字企業割合は、27.5と、前月からほぼ横ばいで推移している。

図-1 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 3 シャド一部分は景気後退期を示す。ただし、2012年4月以降については、まだ景気の谷が設定されていないことからシャドーは付けていない(以下同じ)。
 4 今月調査において、季節調整値の改訂を実施した(以下同じ)。

図-2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 黒字および赤字の判断については過去3カ月の実績による(季節調整値)。

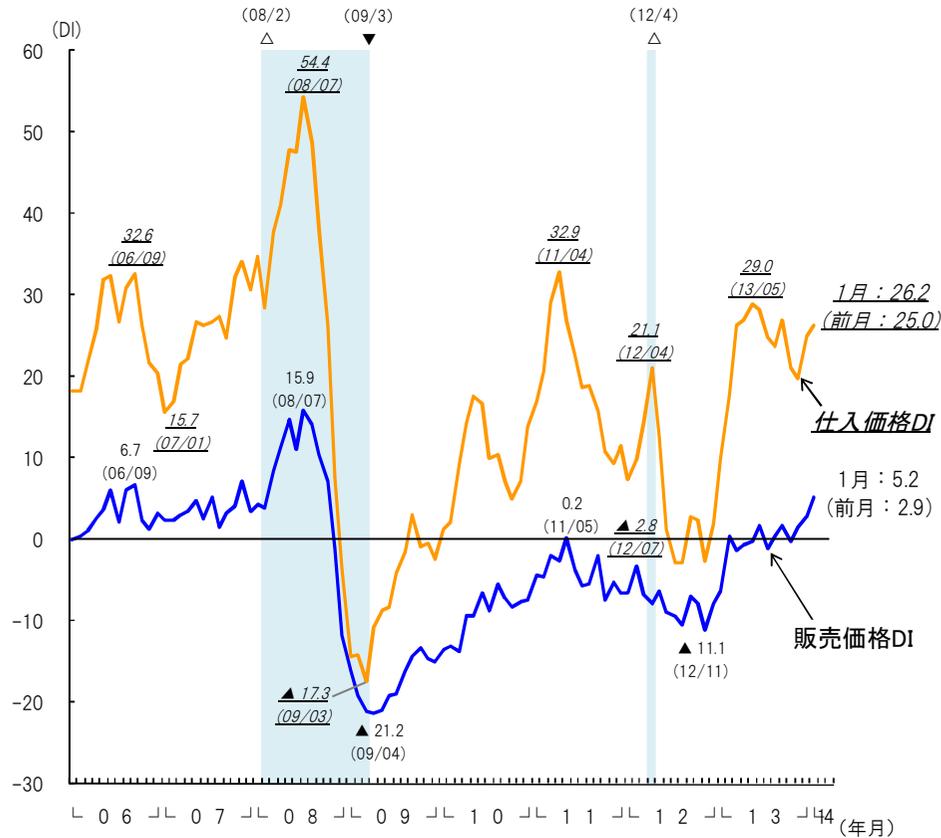
○販売価格DI(「上昇」-「低下」)は、5.2と、前月から2.3ポイント上昇した。上昇は3カ月連続である。

○仕入価格DI(「上昇」-「低下」)は、26.2と、前月から1.2ポイント上昇した。このところ高い水準が続いている。

○従業員判断DI(「不足」-「過剰」)は、0.6と、前月から0.3ポイント低下した。プラスとなるのは2カ月連続である。

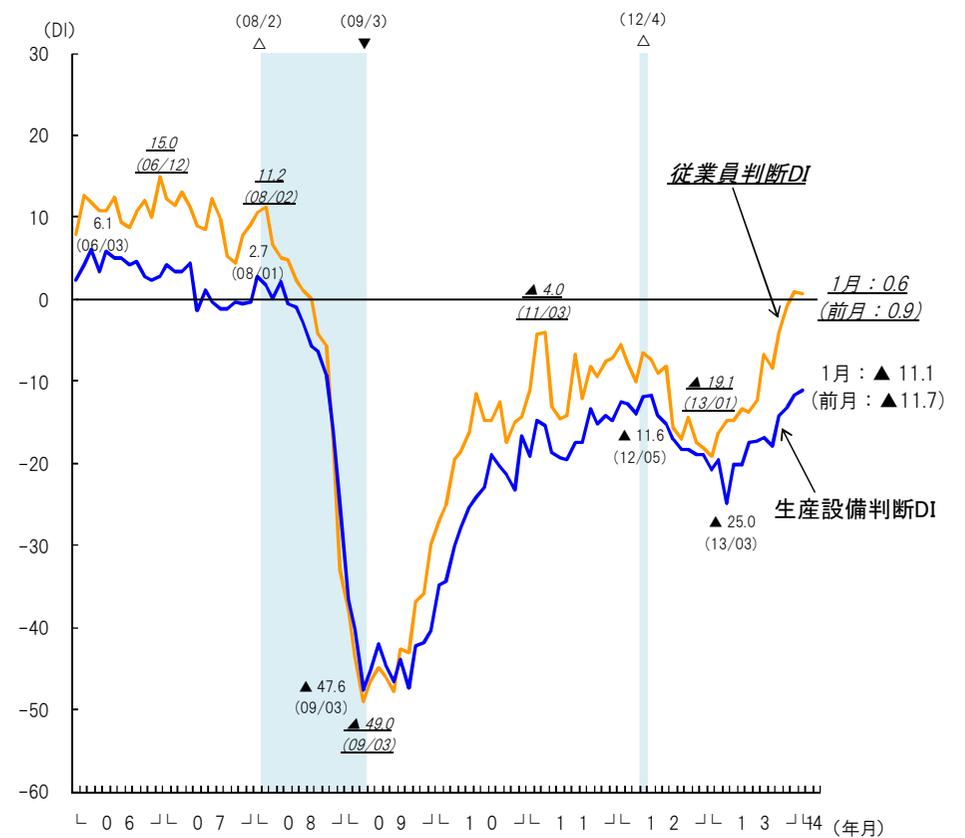
○生産設備判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲11.1と、前月から0.6ポイント上昇したものの、依然マイナス圏内で推移している。

図-3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。

図-4 従業員状況、生産設備の判断

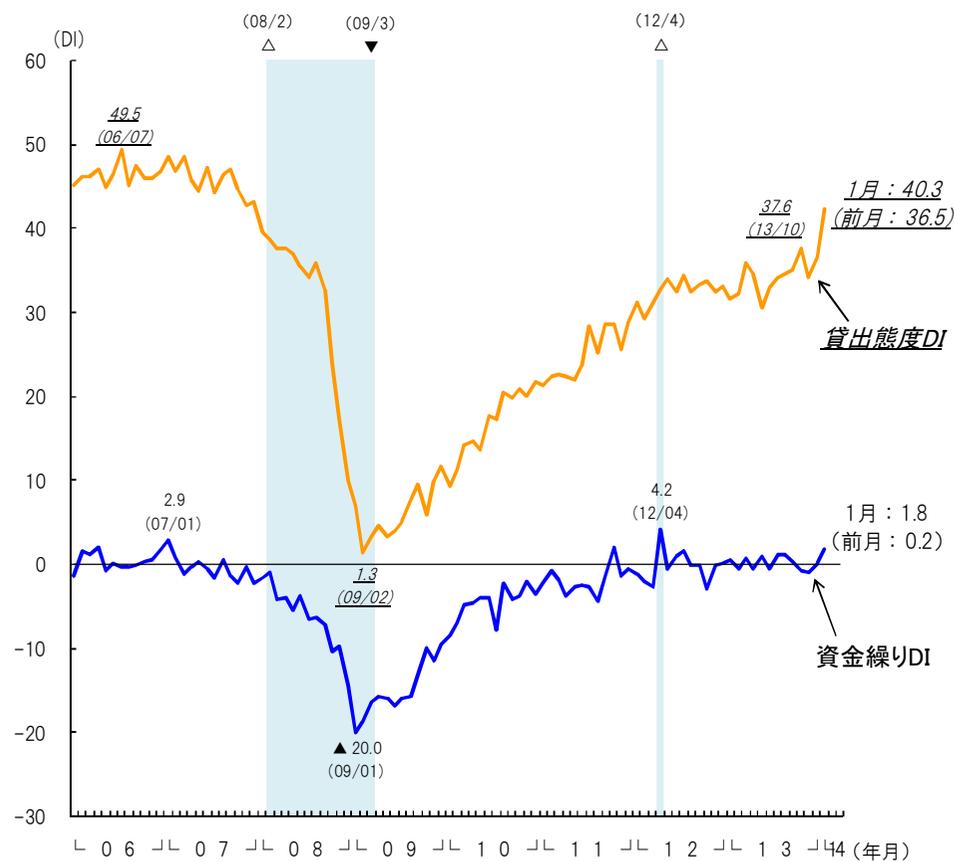


(注) 1 従業員判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。
2 生産設備判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。

○資金繰りDI(「余裕」-「窮屈」)は、1.8と、前月から1.6ポイント上昇した。

○貸出態度DI(「緩和」-「厳しい」)は、40.3と、前月から3.8ポイント上昇した。

図-5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」-「窮屈」企業割合(季節調整値)。
2 貸出態度DIは「緩和」-「厳しい」企業割合。